

特集

# 市民無視の市政を変える

2016  
8月号  
August



## 市民の声を聴き、 誰もが暮らしやすい つくばへ!

たつお

# いがらし立青 と考える 暮らしやすい つくば

地域のみなさまからの声

## 私たちも応援しています

学園地区しか知らないと思っていた若者が、この4年間で成長しましたね

筑波山中腹で生まれ育ち、早60年が経ちました。その間、学園地区の開発や整備を眼下に眺めながら、生活しています。

昭和63年につくば市の合併があり、その後、つくばエキスポプレスも開業しました。

変わらないのが、筑波地区の道路事情。一昨年、父が倒れ救急車をお願いしたところ、道が狭いので家の近くまでは行けないとのこと。愕然としました。

もう一つは、筑波地区に若い人が働ける場所がないこと。こうした地域事情があることを、五十嵐さんならわかってくれると信じています。



小林 節子さん  
主婦 (元教員)  
(筑波在住)



菅原 大輔さん  
パン店経営  
(天久保在住)

五十嵐さんは、周囲とじっくり話し、決めたら必ず形にする人です

東京ドイツでパン作りを勉強し、天久保でパン屋を始めて10年。小さな店ですが、作り手の考え方が反映されたパン作りが大切だと思っています。

うちみたいな小さな店でも気に入ってくれるお客さまがいて、持続的に共存できる街って良いですね。それと、大学生が積極的に地域と関わり、社会に参画できる接点があると楽しいと思います。

一緒に「つくいち」を立ち上げた時も、五十嵐さんは周囲とじっくり相談し、決めたらしっかり形にします。そのスピード感で、良い市政を具体的な形にしてくれるはずですよ。

たつお  
いがらし立青後援会 青風会  
〒305-0045 つくば市梅園2-25-10  
Tel.029-896-9811/Fax.029-896-9812  
メール: info@igarashitatsuo.com

郵便はがき

恐れ入りますが、  
52円切手を  
お貼りください

〒305-0045  
つくば市梅園2-25-10  
たつお  
いがらし立青後援会 青風会 行

あなたのお住まいはどこですか?  
○で囲んでください。

筑波地区	学園地区
大穂地区	谷田部地区
豊里地区	荃崎地区
桜地区	

伝統文化を子ども達に伝えることが  
地域を守ることになる

地元の神輿を担ぎ、40年以上経ちました。学園地区のまつりつくばにも初回から関わり盛り上げてきました。やはり嬉しいのは、普段遠くに住らす人が夏祭りのために帰省してくること。揃いの半纏を着て幼なじみや地域の仲間たちと神輿を担ぎ、一緒に汗をかく喜びは格別です。幼い頃から故郷の歴史を知り、伝



山関 忠さん  
つくば神輿連合  
名誉会長

### プロフィール

1978年 つくば(旧桜村)生まれ。現在38歳。  
2002年 並木幼稚園、並木小、並木中、土浦一高を経て筑波大学卒業、ロンドン大学UCL大学院修了  
筑波大学大学院修了 博士(国際政治経済学)  
2004年 つくば市議選 最年少、最多得票当選(1期目)  
2008年 つくば市議選で2期連続最多得票当選  
2012年 つくば市長選に出馬、次点で落選  
家族: 妻・長男・次男・三男・長女(子ども4人)

### 所属・役職

総合運動公園建設の是非を住民投票で問うつくば市民の会世話人、並木小学校 PTA会長(2014年~15年度)、並木児童館 学童クラブ父母会長(2015年度)、つくば青年会議所会員、つくば中央ライオンズクラブ会員、つくば市倫理法人会会員、NPO法人つくばアグリチャレンジ代表理事  
いがらしコーチングオフィス設立、(株)コーチ・エイ勤務

討議資料

伝統文化に触れることで、地元の良さを誇れる人になり、やがて地域を存続させることにつながるんですね。そうした周辺地区の魅力を引き出し、と理解できるリーダーに最もふさわしいのが五十嵐さんだと思います。



# 市民無視の市政を変える

いがらし立青の活動は SNSでもご覧いただけます

Facebook: <https://ja-jp.facebook.com/tatsuo21/>

Twitter: @igarashitatsuo

Instagram: @igarashitatsuo

YouTube: 記者会見の様子は Youtubeでもご覧いただけます

チャンネル:

## 総合運動公園問題の完全解決へ!

### 1 “市民の声を無視”から “声を聴く市政”に変える

現市政と推進派議員が強引に進めた305億円の総合運動公園計画は、市民の声を無視した市政の極めつけです。それに対して市民が立ち上がり、昨年8月2日に住民投票が実現。反対票が8割を超え、計画は白紙撤回されました。しかし、まだ問題はまったく解決していません。66億円もの莫大な税金で購入した土地は放置され、固定資産税の減少分や借金の利息など年間1億円もの税金が投入され続けています。それでいて、計画を推進した政治家はなんの責任もとっていません。

いがらし立青は、住民投票の会の世話人として奔走した後も、各地で聴いた市民の声を心に刻み、完全解決への具体策を練ってきました。そして、「市長に就任したら直ちにURと土地の返還交渉」「適切な場所・規模・方法で陸上競技場を建設」「大規模な事業推進のルールを決め、公募委員を増やす」などを提言。市民の声を聴く市政を実現します。

土地代 66億円  
利息 3千万円/年

反住民投票賛対 8割2成

固定資産税 7千万円/年  
すべて市民の負担!



地域の悲鳴のような声が聞こえてきます

### 2 “地元無視”から “地元優先の市政”に変える

いがらし立青は、前回の市長選後の4年間、毎日市内の各地区を歩いて市民の声を聴き続けてきました。「商店街がシャッター通りになった」「バスがなくて不便」「街灯が少ない」「保育所が足りない」などの声を行く先々で寄せられ、市政の「地元無視」を痛感。地元優先の市政に変えていく決意をしました。

#### 子育て・教育インフラに集中投資

お隣のつくばみらい市では、新しい学校をつくり、若い住民を呼び込むことに成功しています。一方つくば市は、運動公園をつくる305億円はあるのに、学校をつくる50億円はないと学校建設を先延ばしにしてきました。このまま「地元無視」を続ければ、若い住民は減る一方です。現状を変えるには、学校をつくる、保育園を増やす、学童保育を全地区につくるなど、子育て・教育インフラへの集中投資が必要です。

#### 地元企業を優先する入札制度

学校など公共の建物をつくる時に入札は、地元の会社を優先します。新しい学校ができれば、周囲にたくさん家が建ち、レストランや美容室、書店などお店も増えていくでしょう。そこにも地元企業の活躍の場や、住民の働く場が生まれます。そして、地域でお金が回れば市の税収が増え、子育てや教育、福祉の支援に使うことができます。入札制度を変え、子育て・教育インフラに投資することで良い循環を生み出します。

病院や買い物に使いたい!



市政に必要なのは、派手で目立つことではなく、生活者の目線に立つことです。しかし現状は、生活を置き去りにした「市民生活無視」の市政と言わざるをえません。生活によりそう市政に変えるため、市政の正常化からはじまり、安心の子育て、頼れる福祉、便利なインフラ、活気ある地域、誇れるまちへと、段階を踏んで着実にまちづくりを進めていきます。

### 3 “市民生活無視”から “よりそう市政”に変える

- 5 「一緒に住まない?」と誘いたくなるつくばにカエル!  
図書館/文化伝統/スポーツ/国際/観光/郷土史/シビックプライド
- 4 地元で頑張る会社と人が報われるつくばにカエル!  
雇用/科学技術/エネルギー/農業/環境/ワークライフバランス
- 3 広いのに近いつくばにカエル!  
公共交通/自転車/住まい/防災/地元/都市計画/自然
- 2 すべての人が自分らしく生きるつくばにカエル!  
地域医療/障害/貧困対策/高齢者/介護予防/ペット
- 1 ママパパに優しいつくばにカエル!  
妊娠・出産/保育所/学童保育/教育
- 0 市民無視の市政をカエル!  
運動公園問題/行財政改革/女性登用



各地区の声を聴く

つくば市は旧6町村が合併しており、各地区が課題を抱えています。そこで「地域担当部局」をつくり、旧町村ごとの担当官において地元のことを相談しやすくします。



#### サポーター募集

いがらし立青応援サポーターになってください。

つくばへのご提案やご要望、いがらし立青への応援メッセージ等をお願いします。

ご住所 〒

お電話

お名前 (フリガナ)

※ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、いがらし立青後援会青風会に関連する活動以外には利用いたしません。